

(貝類)

種名	指定の理由〔被害の実態等〕	注意事項	備考
スクミリンゴガイ	県内に広く定着しており、生態系や農業への影響が高いため。		環境省「生態系被害防止外来種リスト」(総合対策外来種)
ムラサキイガイ	県内に定着し、在来の生物と固着場所が競合している。また、在来生物を被覆し、駆逐する事例が報告されている。		ムール貝と呼ばれ、食用に流通している。 環境省「生態系被害防止外来種リスト」(総合対策外来種)
台湾シジミ	在来のマシジミとの交雑による遺伝的かく乱が懸念されている。台湾シジミの移入により マシジミを消失させることが報告されている。	不用意な移植放流が在来生態系に影響を及ぼすおそれがあることに留意し、適切な管理を行うことが重要である。	食用として流通している。 環境省「生態系被害防止外来種リスト」(総合対策外来種)
シナハマグリ	在来のハマグリとの交雑による遺伝的かく乱が懸念されている。	不用意な移植放流が在来生態系に影響を及ぼすおそれがあることに留意し、適切な管理を行うことが重要である。	食用として流通している。 環境省「生態系被害防止外来種リスト」(総合対策外来種)
チャコウラナメクジ	在来のナメクジより乾燥に強く、生息地が競合する。		
シマメノウフネガイ	在来の貝類に付着し、その成長を阻害する。		
サカマキガイ	低環境でも生息が可能で、繁殖力が強く、在来生物と生息地が競合し、これを駆逐する。また、雑食性で食欲が旺盛であることから、在来種を捕食する。	観賞魚や水草に付いて非意図的に導入されたと考えられているので、観賞魚の飼育で使用した水は、適切に処理する必要がある。	